

第 174 号 内容紹介

1, J・サックス「シリアを破壊した米／イスラエルの戦略」

米国とイスラエルがアサド政権打倒作戦を発動するまで、シリアは中所得国として成長していた。米外交批判の論陣をはる筆者の最新論考。

2, G・ディーセン「外交をボイコットする NATO 戦略」

「最後のウクライナ兵まで戦う」との物語は、どのようにして西欧のメディアに浸透したのか。NATO の長期戦略をノルウェーの専門家が分析。

3, A・マクレオド「米議会で新たな反共カリキュラム法可決」

公立学校のカリキュラムを再編する新たな法律「共産主義禁止法」が米下院で採択された。中国とラテンアメリカの左派政権を標的にしている。

4, T・ファジ「ルーマニアの司法クーデターの背景」

戦争反対と自主外交をとなえた候補がトップにたった大統領選結果を、憲法裁判所が無効にした。背後には、この国を対ロシアの前進基地にかえようとする NATO 戦略が見え隠れする。

5, 村山俊夫「軍事反乱の危機を防いだ韓国②」

韓国の国会でついに尹錫悦・大統領の弾劾訴追案が可決。戒厳令解除以来、冷気の覆う歩道を怒りのこぶしを突きあげて行進し続けた市民の思いが勝利をたぐり寄せた。ソウルからの報告第二弾。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_news](#) の編集日記 ([livedoo na 愛用紹介 r.jp](#)))

